

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立高志小学校

学年・人数 4年生・82名

実施日 令和2年9月3日（木）・17日（木）

～もっと知ろう・関川のこと～

高志小学校4年生が2日間にわたり、関川について学びました！

● 実施概要【1日目：高志小学校での出前講座】

日時：令和2年9月3日（木） 1限 8:30～9:15

場所：上越市立高志小学校 体育館

参加者：高志小学校4年生1～3組 82名

内容：1. 室内講座～プレゼンテーション資料を用いた関川の学習～

- ①川のことば・日本の川の特徴
- ②関川ってどんな川？（名前の由来、特徴、流れる水量）
- ③関川の洪水の歴史・治水・管理（過去の水害、河川整備、河川管理）
- ④関川の利水（発電への利用、農業への利用）
- ⑤関川の生き物（生息する生物種、侵入する外来種）
- ⑥川の水をきれいにする仕組み（下水処理）
- ⑦その他（関川で撮影された写真）

2. 質問タイム

● 出前講座の様子



プレゼンテーション資料を用いて講座を行いました。これは、関川を流れる毎月の水量をグラフで表しながら説明している様子です。



講座の途中では、関川の水利用の種類や生息する魚の種数についてのクイズを取り入れ、楽しく講座を進めました。



最後には、みなさんから質問を受けました。みなさん積極的に質問していました。

《児童のみなさんからの質問と回答》

- Q1：水害が起きて避難した場合、食料はどこで手に入ればよいですか。
A1：避難所などで市役所が配る場合もありますが、普段から自分で準備しておくことが大切です。
- Q2：関川で釣りが禁止されている場所を見かけました。なぜ禁止するのですか。
A2：釣りをすると危険な場所や、魚の保護のために禁止していることがあります。
- Q3：外来種を見かけた場合、どうすればいいですか。
A3：危険な場合もあるため、むやみに捕まえたりせず、困ったら市役所に連絡してください。

小学校の学習支援『川学習の出前講座』

実施校 上越市立高志小学校

学年・人数 4年生・82名

実施日 令和2年9月3日（木）・17日（木）

～もっと知ろう・関川のこと～

高志小学校4年生が2日間にわたり、関川について学びました！

● 実施概要【2日目：塩屋緊急資材倉庫の見学】

日時：令和2年9月17日（木） 9:30～10:15

場所：塩屋緊急資材倉庫

概要 要：上越市大字塩屋にある塩屋緊急資材倉庫を見学してもらいました。まず緊急資材倉庫や排水ポンプ車・照明車などの災害対策車両の役割、堤防除草に用いるラジコン草刈り機的能力について説明を行いました。その後、倉庫内に備蓄してある土のう袋やブルーシートなど水防資材を見てもらい、その使い方について説明を行いました。

● 見学時の様子



塩屋緊急資材倉庫の役割を説明する様子



熱心に説明を聞く児童たちの様子



倉庫内を見学している様子



倉庫内で水防資材について説明する様子

《児童のみなさんからの質問と回答》

Q1：土のう袋はどのようにして使うのですか。

A1：洪水時に、袋に土を入れて堤防に積むことで、川から水があふれるのを防いだりします。

Q2：蛇かご（写真①）、救命胴衣（写真②）はどのように使いますか。

A2：蛇かごは川の流れが強い時に、堤防を保護するため、石を詰めて堤防の法面に設置したりします。
救命胴衣は、洪水時の活動中に、万が一、川へ流された場合でも溺れないように作業員が身に着けるものです。

